

平成 29 年 1 月 1 日号

消費生活 Q&A

Q 日頃からお金の大切さを子どもに伝えたいと思っています。何か良い機会がありますか。

A この時期、子どもたちが毎年楽しみにしている「お年玉」。金融広報委員会が平成 27 年度に実施した調査によると、その総額は、小学生では 1 万円から 2 万円未満、中学生・高校生となると 1 万円から 5 万円未満が多数でした。

計画性のあるお金の使い方ができる大人になるには、子どもの頃からお金の大切さについて考える機会をもつ必要があります。消費生活センターには、「無計画なお金の使い方借金をした」「オンラインゲームで気が付いたら多額のアイテムをクレジットカードで購入していた」という相談が時折寄せられます。カードを使用すると、買物時にお金を支払っている感覚がないことから計画性のない多額の買物につながる可能性があります。

子どもの頃に計画性のあるお金の使い方を身につければ一生ものです。ぜひこの機会に親子でお金の使い方を話し合みましょう。

金融広報委員会：暮らしに身近な金融に関する広報・消費者教育を行っている団体です。

問合せ・・・消費生活センター ☎（４２２）２１５５